

西小は おおきな 家族

Family

～校長のたわいもない独り言～

平成 30 年 11 月 6 日 (火) No.36

発行人

一番好きな食べ物は“ソース焼きそば”です。の川崎先生。だから??

◇秋のある日のこと◇

・最近は、いつもの3年生平岡三人娘に下市娘やらあやめ娘らが加わって、朝から10回言ってゲームが炸裂。「リンゴって10回言って」「リンゴ、リンゴ・・・リンゴ」「リンゴを食べて死んだのは?」「白雪姫」「残念、白雪姫は死んでません。眠ってただけです～」。はい(_)>。「カバって10回言って」「カバ、カバ、・・・カバ」「カバが逆立ちすると何になる」「バカ」「カバは逆立ちしてもカバのままです～」。はい(_)>。「ありがとうって10回言って」「ありがとう、ありがとう・・・ありがとう」「はい、ありがとう」。おいっ! そうきたかく～'>。「あかさたなって10回言って」「あかさたな、あかさたな・・・あかさたな」「たの次は」「な」「ぶっぶっー。“ち”でーす」。はい、その通り。子どもさんを送ってきていたお母さんにも同じ問題を出したみたいだけど、お母さんは見事に正解。どうせ、どうせ・・・どうせどうせ(T_T)

・今日も“バカ”をつけてくれた女の子。校長先生の相手をしてくれるために、途中からずっと持ってきたんだよね。次の日には猫じゃらし。もらってくすぐり返すと「うひゃひゃひゃ」。そうなんだよね、なぜかみんなこういう反応になるんだよね。

・朝から“おかえりなさい”と笑顔であいさつの女の子。そうか、昨日一日中出かけていて学校にいなかったからね。一緒にいた他の二人も「おかえりなさい」。＼(^o^)/

・“はじめまして、じゃないんですよね”と、読みかせに来てくれていたあるお母さん。「えっ?」と思っていると、川崎が白根巨摩中で担任をした教え子の結婚式に来ていて、そこでの川崎のスピーチを覚えていてくれたらしい。うわっ、なんとというレアなつながり。世間の狭さを強～く実感。

・前々回の第34号で入院の告知をした次の日。朝から子どもたちが心配そうにこちらを見ているのが痛いほどわかる。何人もの子が「入院するんですか?」「大丈夫ですか?」「痛いんですか?」と気遣ってくれた。中には自分の全身麻酔の体験を手紙にして、“がんばって”と伝えてくれた子も。あーっもう、涙腺が崩壊する。多くのお母さん方にも気遣いの声をかけていただきありがとうございます。心はもうぬくぬくです。

・過日 PTA の役員会が行われ、運動会の反省のまとめが示された。その中に「テントの運搬に軽トラが数多く集まった」とあった。それを聞きながら一人想いを巡らしていた。「西地区で田畑があると軽トラって必須だよなあ。必要レベルは包丁やまな板レベルかもしれない。そっかあ、そうするとトラクターや田植え機、稲刈り器、コンバイン等は炊飯器レベルだよなあ。川崎の家にも、ありとあらゆる農機具から道具まであるけど、例えばチェーン・ソーは頻繁には使わないけど、みんな持っているから刺身包丁クラスだな。なたや長鎌は最近使用頻度が落ちているから、網焼き器くらいか。そうすると川崎が持っている半田ごてカッターやアクリル・プラスチック曲げ専用ドライバー、デジタルマイクロメーターなどのレアな道具類は、すし桶とかモチ用のし棒・のし板と同類かもしれない。」・・・すいません。本当に無駄な例えです。会議中に何考えてるんだか。(_)>が、一方で田舎には小屋が多いのは、このような機器類を収納するために必須だったということに初めて気が付きました。今までは、あまりにも当たり前すぎて考えていなかったです。・・・けっこう(すごーく)どうでもいい話でした。(_)>